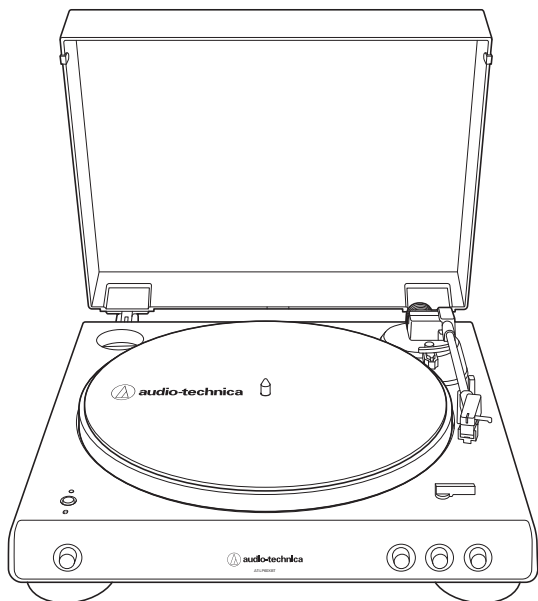




AT-LP60XBT

取扱説明書
ワイヤレスターンテーブル



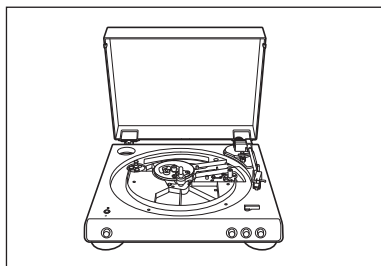
はじめに

お買い上げありがとうございます。
ご使用前にクイックスタートガイド、取扱注意ガイドを必ずお読みのうえ、必要に応じてこの取扱説明書を参照して正しくご使用ください。

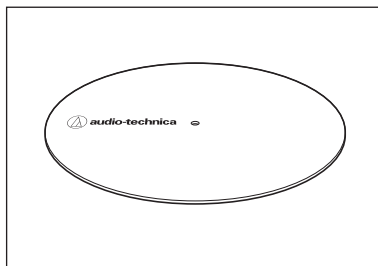
本製品は、販売国でのみ使用できます。
本製品の電圧、ACアダプターのプラグがお住いの国に適合していることをご確認ください。

同梱品の確認

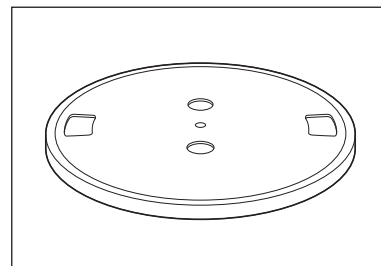
本製品をご使用になる前に、下記同梱品がすべてそろっていることを確認してください。
万一、同梱品に不足や損傷がある場合は、お買い上げの販売店または当社窓口までご連絡ください。



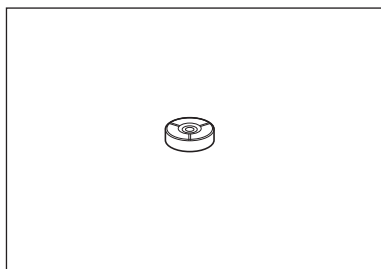
・ターンテーブル本体



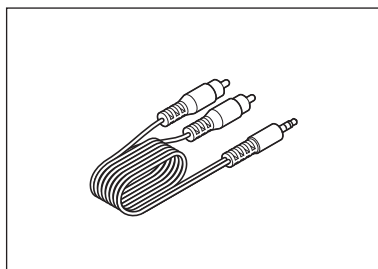
・フェルトマット



・プラッター（ドライブベルト付き）



・EPアダプター



・オーディオケーブル（約1.2m）

- ・ACアダプター（約1.5m）
- ・クイックスタートガイド
- ・取扱注意ガイド
- ・保証書

ご購入後、保管、移動、輸送する場合に備え、すべての梱包材を保管しておくことをおすすめします。

安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。

事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

警告 この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。

注意 この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本製品について

警告

- 心臓ペースメーカーの装着部位から 15cm 以内の位置では使用しない
ペースメーカーが、本製品の電波の影響を受ける恐れがあります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しない
電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。
- 自動ドアや火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない
電波が影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。
- 異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気付いたら使用しない
異常に気付いたらすぐに使用を中止して、AC アダプターから抜きお買い上げの販売店に連絡してください。
そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
- 火気に近づけない／火の付いたキャンドルなどを上に置かない
火災の原因になります。
- 分解や改造はしない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 強い衝撃を与えない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 濡れた手で触れない
感電によるけがの恐れがあります。
- 水をかけない／水滴や水しぶきのかかる場所に置かない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 本製品に異物（燃えやすい物、金属、液体など）を入れない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- じゅうたんや布などで覆わない
過熱による火災など事故の原因になります。
- 同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない
事故や火災の原因になります。

注意

- 不安定な場所に置かない
本製品の落下などにより、けがや故障の原因になります。
- 換気の良い場所に置く
本製品を換気の悪い場所に置くと、熱がこもり、火災など事故の原因になります。ラックなどに入れるときは、放熱をよくするために本製品の周りに隙間を空けてください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
また、故障、不具合の原因になります。
- 本製品の上に物（花瓶・植木鉢・水の入ったコップ・金属など）を置かない
万一、倒れた場合、感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- ベンジン、シンナー、接点復活保護剤など薬品は使用しない
変形、故障の原因になります。

ACアダプターについて

警告

- 表示している電源電圧以外で使用しない
過熱による火災など事故の原因になります。
- 本製品以外には使用しない
過熱による火災など事故の原因になります。
- 異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気付いたら使用しない
異常に気付いたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜きお買い上げの販売店に連絡してください。
そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
- コードは伸ばして使用する。釘などでの固定や、束ねたままでの使用はしない
過熱による火災など事故の原因になります。
- コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む
過熱による火災など事故の原因になります。
- コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする
断線、故障の原因になります。
- コードの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない
断線、故障の原因になります。
- 分解や改造はしない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 強い衝撃を与えない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- 濡れた手で触れない
感電によるけがの恐れがあります。
- 布などで覆わない
過熱による火災など事故の原因になります。
- プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る
過熱による火災など事故の原因になります。
- ベンジン、シンナー、接点復活剤など薬品は使用しない
変形、故障の原因になります。

注意

- 長時間使用しないときは、コンセントから抜き
省エネルギーにご配慮ください。
- 足に引っ掛かりやすい場所にコードを引き回さない
故障や事故の原因になります。
- 通電中の AC アダプターに長時間触れない
低温やけどの原因になることがあります。

Bluetooth® 製品について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から別の移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の電源をお切りください。そのうえで、当社お客様相談窓口にご連絡頂き、混信回避のための処置についてお問い合わせください。
3. その他、この機器から第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合やご不明な点がございましたら当社お客様相談窓口までお問い合わせください。

2.4FH1

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。
変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

本製品は日本の電波法の技術基準に適合しています。貼り付けられているラベルはその証明ラベルです。証明ラベルの貼り付けられた製品を総務省の許可なしに改造、または証明ラベルをはがして使用することはできません。これに違反すると法律により罰せられます。

ほかの機器との同時使用

Bluetooth搭載機器・無線LANを使用する機器・電子レンジなど、本製品と同一周波数帯(2.4GHz)の電波を使用する機器の影響によって音声途切れるなど電波干渉による障害が発生することがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性もあるため、下記の点に注意してください。

- ・ 本製品と同一周波数帯(2.4GHz)の電波を使用する機器を離して設置する。
- ・ 病院内では使用しない。

使用上の注意

本製品と接続する機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。

Bluetooth標準規格に適合していても、特性や仕様によっては、本製品と接続できない場合や、操作方法や動作が異なる場合があります。

使用上の注意

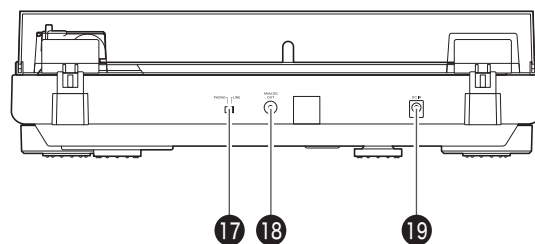
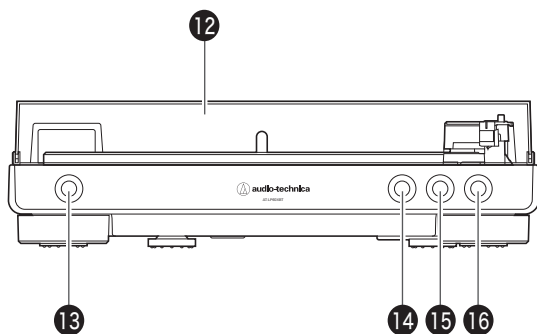
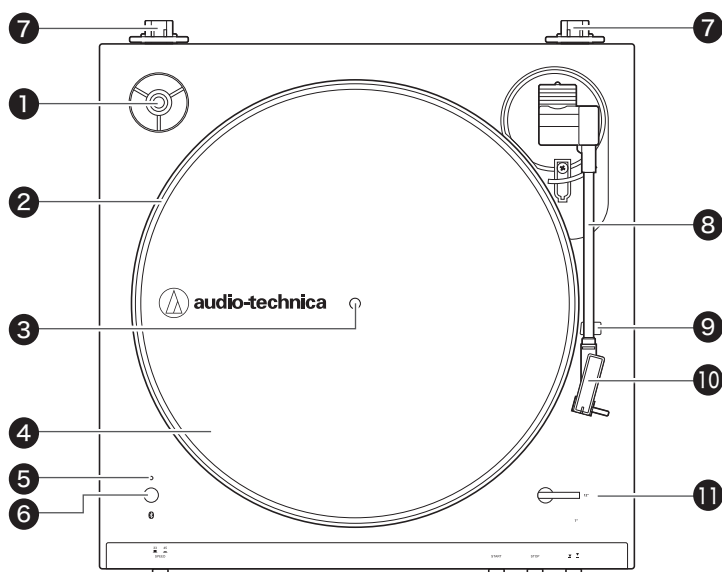
ターンテーブル本体について

- ・ 温度や湿度の高い場所、ほこりの多い場所、大きな振動がある場所には本製品を設置したり使用しないでください。
- ・ 本製品は、傾きのない水平な場所に置いてください。
- ・ ダストカバーを閉じる際は、完全に閉じてください。再生中はカバーを開けないでください。
- ・ Bluetooth機器を接続してご使用の際は、Bluetooth機器の取扱説明書も必ずお読みください。

カートリッジについて

- ・ 本製品を使用しないときは、付属のプロテクターをカートリッジに取り付けてください。
- ・ カートリッジの針に指で触れないでください。
- ・ カートリッジの針をブラッター、フェルトマットやレコードの縁部にぶつけないでください。

各部の名称と機能

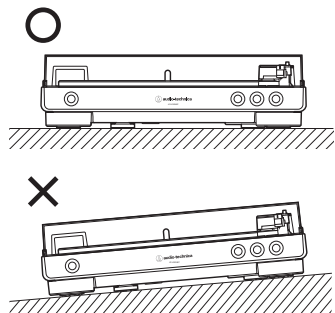


- ① EPアダプター／専用スペース
EP盤を再生する際、スピンドルに差し込みます。
- ② プラッター
- ③ スピンドル
- ④ フェルトマット
- ⑤ インジケータLED
Bluetoothの接続状態を点滅・点灯で表示します。
- ⑥ コネクトボタン
本製品とBluetooth機器を接続する際に使用します。
- ⑦ ヒンジホルダー
ダストカバーのヒンジを取り付けます。
- ⑧ トーンアーム
- ⑨ アームレスト
- ⑩ ヘッドシェルとカートリッジ
ヘッドシェルに、カートリッジ(AT3600L)が付いています。
- ⑪ サイズセレクター
レコードの大きさによって、30cm(12")／17cm(7")に切り換えます。
- ⑫ ダストカバー(ヒンジ付き)
- ⑬ 回転数セレクター
プラッターの回転数(33 $\frac{1}{3}$ 回転／分または45回転／分)の選択をします。
- ⑭ STARTボタン
プラッターが回転し、トーンアームが移動します。
- ⑮ STOPボタン
トーンアームが元の位置に戻り、プラッターが停止します。
- ⑯ アームボタン
トーンアームが上下します。
- ⑰ PHONO／LINE切換スイッチ
PHONO入力端子のあるアンプを使用する場合、PHONO側に設定します。アンプのAUX端子などに接続する場合は、LINE側に設定します。
- ⑱ ステレオ出力端子
オーディオケーブルを接続します。
- ⑲ 電源入力端子
ACアダプターを接続します。

使用前の準備

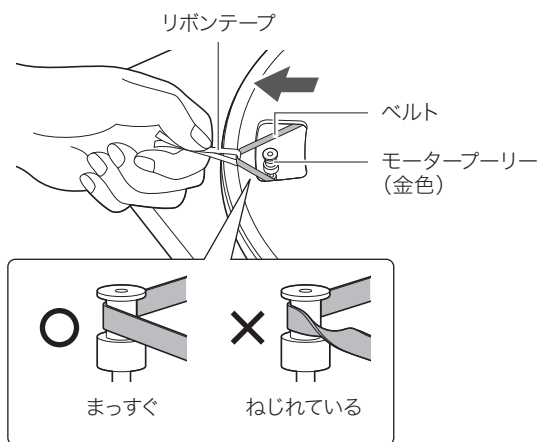
設置する

- ・本製品を設置するときは、水平な場所に設置してください。
- ・音圧や振動の影響を避けるため、スピーカーなどから離して設置してください。
- ・ラジオなどを本製品に近づけると、ラジオに雑音が入る場合があります。できるだけ本製品から離してください。
- ・本製品の近くに強い電波を発生させる機器（携帯電話など）があると、ノイズが発生する場合があります。

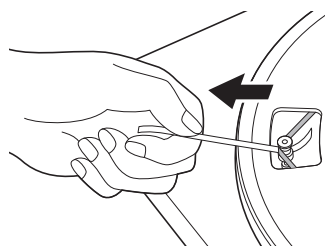


2. モータープーリー（金色）にベルトをかけます。

- ・開口部をモータープーリー（金色）に合わせ、あらかじめベルトに取り付けてある、赤いリボンテープの両端を引っ張りながら、図のようにモータープーリー（金色）にベルトをかけます。その際、ベルトがねじれないように注意してください。

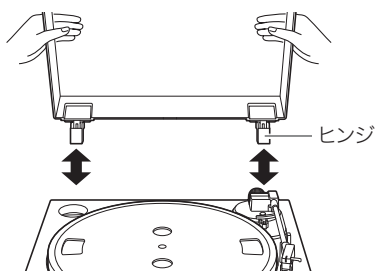


3. ベルトからリボンテープを引き抜きます。



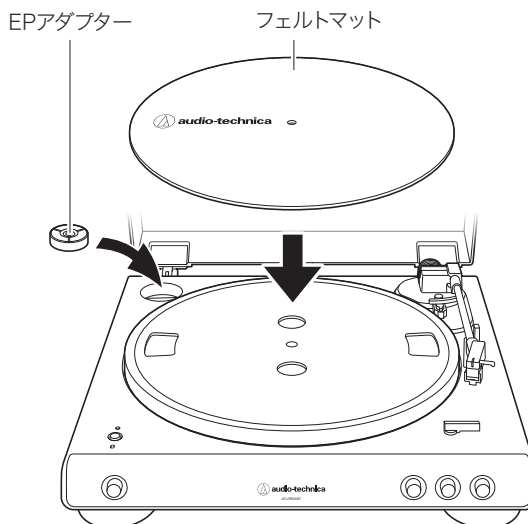
ダストカバーの取り付け／取り外し

ダストカバーを開き、ヒンジホルダーからダストカバーをゆっくり抜くと取り外すことができます。取り付ける場合は、ヒンジをヒンジホルダーへ差し込んでください。



4. フェルトマットをプラッターの上に取り付けます。

- ・取り付けたあと、EPアダプターを左上の専用スペースに設置してください。

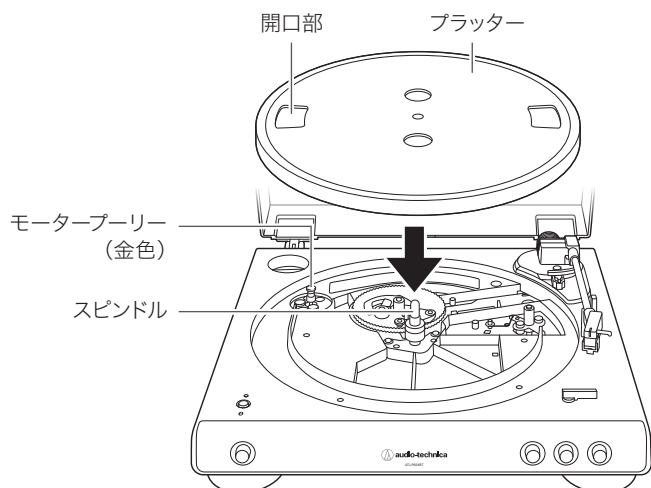


組み立てる

本製品は、はじめてご使用になる前に組み立て作業が必要です。組み立てが終わるまではACアダプターを接続しないでください。

1. プラッターをスピンドルに取り付けます。

- ・プラッターがスピンドルに確実に装着されたことを確認します。

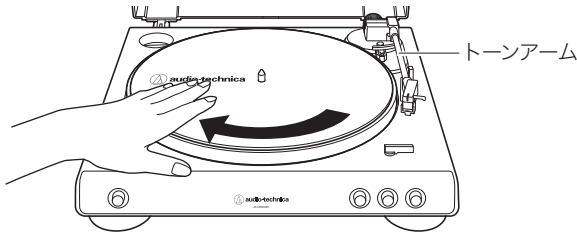


使用前の準備

プラッターを回転させる

1. 手でプラッターを10回転させます。

- ・ トーンアームを固定しているピンタイを取り外し、アームボタンを押してトーンアームを上げます。手でターンテーブルをゆっくり矢印の方向に10回転させてください。
- ・ トーンアームが動くことがありますのでご注意ください。この作業は、ベルトの歪みをなくし、プラッター中央に滑らかにかかるようにするためです。



ACアダプターを接続する

本製品に電源スイッチはありません。使用しないときも待機電流が流れていますので、長時間ご使用にならないときは、コンセントからACアダプターを抜いてください。

1. ACアダプターをコンセントに差し込みます。

- ・ カートリッジのプロテクターは取り外さずに、ACアダプターをコンセントに差し込みます。もしプラッターが回転した場合は、トーンアームに触れずにSTOPボタンを押し、トーンアームが元の位置に戻るまでお待ちください。

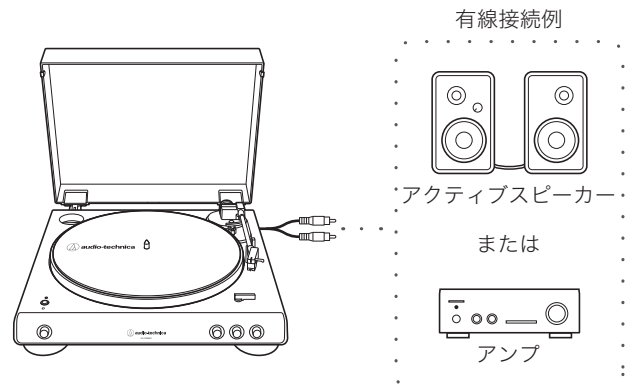
ワイヤレス/有線接続について

本製品ではお使いの環境に合わせてBluetoothでワイヤレス接続、またはオーディオケーブルを使用してアクティブスピーカーなどと有線接続することができます。

Bluetoothを使用してワイヤレスで接続する場合は、「Bluetoothで接続する」(p.7)をお読みください。



オーディオケーブルを使用して有線で接続する場合は、「接続機器(アクティブスピーカー、アンプなど)との接続」(p.8)をお読みください。



・ 接続するスピーカーなどに音量調整がない場合、音量調整はできません。

使用前の準備

接続機器(アクティブスピーカー、アンプなど)との接続

PHONO/LINE切換スイッチの設定に合わせて、ご使用の接続機器(アンプ、レシーバー、アクティブスピーカー、サウンドカードまたはその他の機器)の入力端子に、オーディオケーブルを接続します。

PHONO/LINE切換スイッチの設定

本製品は、フォノイコライザー機能を内蔵しています。フォノアンプまたはフォノアンプ内蔵の接続機器をお持ちでない場合でも、アクティブスピーカーなどをつないで本製品を使用できます。

PHONO/LINE切換スイッチを使用して、以下のように出力を設定してください。

使用する接続機器	PHONO/LINE切換スイッチの位置	オーディオケーブルの接続先
PHONO入力がある機器	PHONO	接続機器のPHONO入力端子
PHONO入力がない機器	LINE	接続機器のAUX端子またはLINE入力端子
パソコンのサウンドカード	LINE	サウンドカードのLINE入力端子*

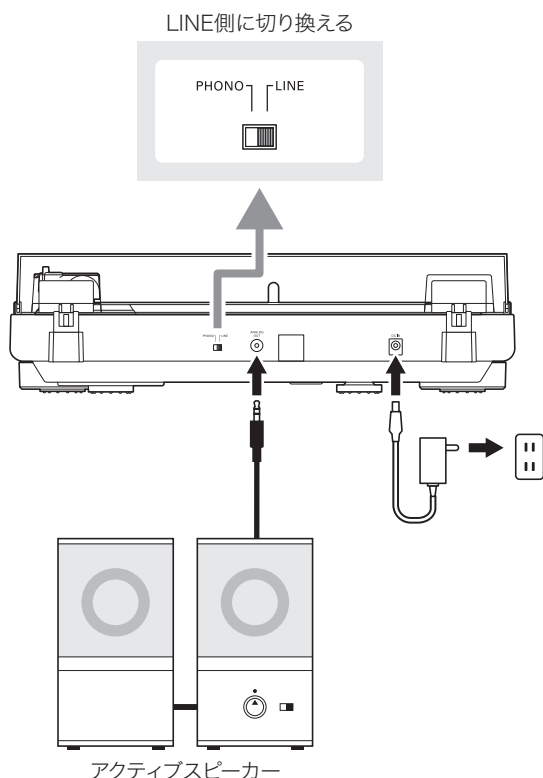
* オーディオケーブルをパソコンのサウンドカードのLINE入力端子に接続するには、オーディオアダプター(別売)が必要な場合があります。

・ Bluetooth接続時は、PHONO/LINE切換スイッチを使用する必要はありません。

アクティブ(アンプ内蔵型)スピーカーとの接続

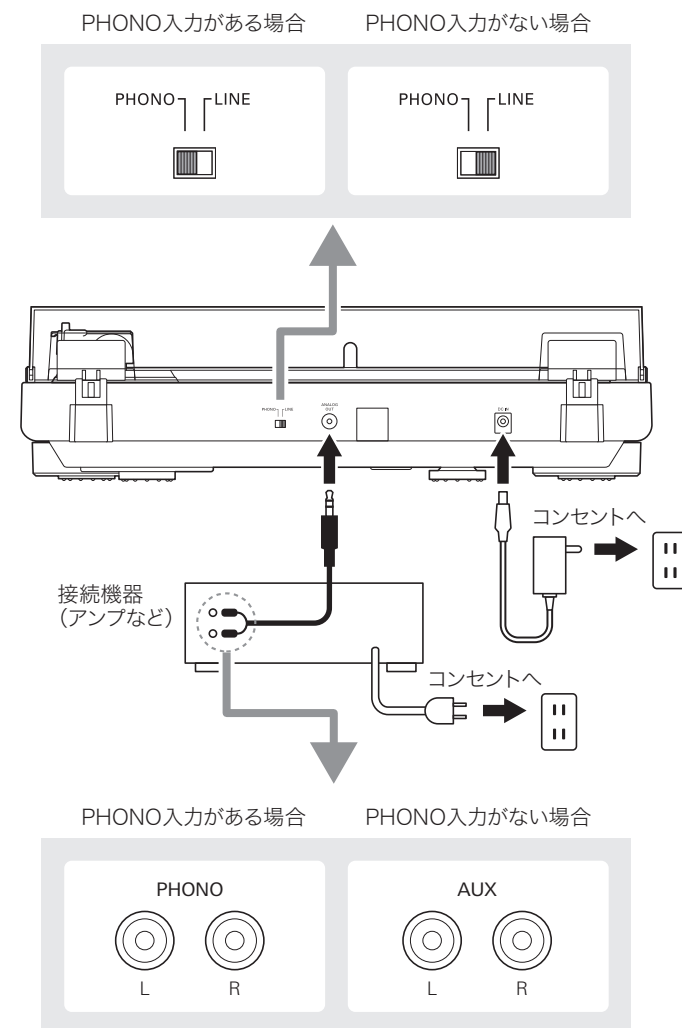
本製品とスピーカーを直接接続する場合は、アクティブスピーカーを使用します。

・ アクティブスピーカーによっては、接続する際に変換ケーブルなどが必要になる場合があります。



接続機器(アンプなど)との接続

オーディオケーブルの赤色端子が右(R)チャンネル、白色端子が左(L)チャンネルです。

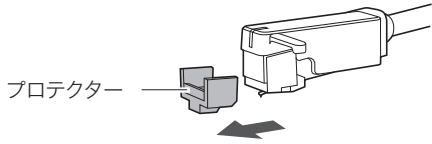


使いかた

再生の前に

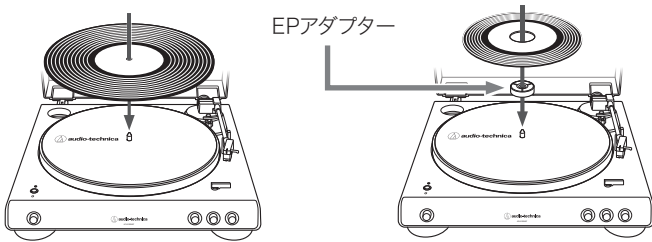
1. カートリッジのプロテクターを取り外します。

- ・ まっすぐ手前に引き抜いてください。
- ・ 下方に力が加わると、針が本体から外れてしまう場合があります。針が外れた場合や外れかかっている場合は小さな音しか出ないため、「針交換のしかた」(p.11)を参照して、針を正しく取り付け直してください。



2. レコードを、中心の穴がスピンドルに合うようにフェルトマットの上に乗せます。

- ・ EPレコードの場合は、EPアダプターを取り付けてください(下図右側参照)。

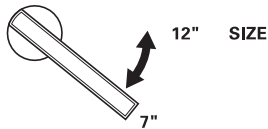


オート再生のしかた

アンプやアクティブスピーカーなどの音量を充分小さくしておいてください。

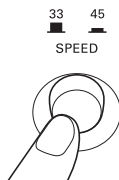
1. サイズセレクターでサイズを選択します。

- ・ 直径30cmのLPLレコードの場合は「12」、直径17cmのEPレコードの場合は「7」を選択してください。



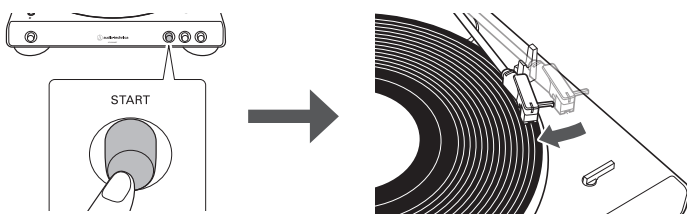
2. 回転数セレクターを押して回転数を選択します。

- ・ 33 $\frac{1}{3}$ 回転レコードの場合は「33」、45回転レコードの場合は「45」を選択してください。



3. STARTボタンを押します。

- ・ 再生中は本製品に衝撃などを与えないでください。
- ・ 再生中にサイズセレクターでサイズを変更しないでください。故障の原因になります。

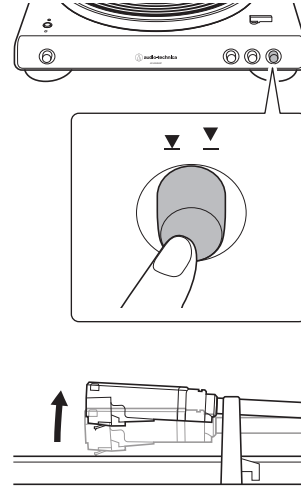


マニュアル再生のしかた

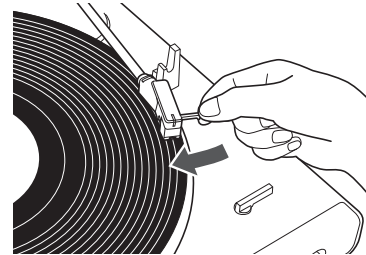
アンプやアクティブスピーカーなどの音量を充分小さくしておいてください。

1. アームボタンを押します。

- ・ アームボタンを押すと、アームレストからトーンアームが浮き上がります。

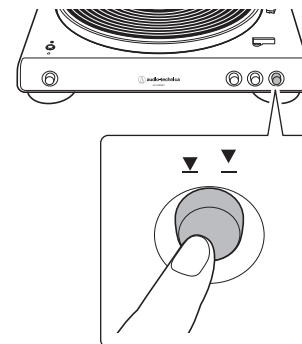


2. レコードに針先を移動させます。



3. アームボタンを押します。

- ・ アームボタンを押すと、針が下がって再生が開始されます。



使いかた

再生を中断する

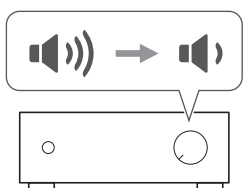
1. アンプやアクティブスピーカーなどの音量を充分小さくした後、アームボタンを押します。

停止する

レコードが最後まで再生されると、トーンアームは自動的にアームレストに戻ります。

レコードの再生中に、途中で停止する場合は以下のとおりです。

1. アンプやアクティブスピーカーなどの音量を充分小さくします。



2. STOPボタンを押します。

- ・再生が終了すると、トーンアームは自動的にアームレストに戻ります。



3. プラッターが完全に停止したあと、レコードを取り外します。

- ・プラッター回転中にトーンアームを中心に近づけると、トーンアームはアームレストに戻ろうとしますが、これを無理に止めないでください。故障の原因になります。トーンアームがアームレストに戻らないときは、STOPボタンを押すと自動的に戻ります。
- ・フェルトマットが汚れているとレコードに傷が付きやすくなりますので、定期的にフェルトマットを取り外して、ほこりなどを払ってください。
- ・使用後は、レコードの傷付きや反りを防止するため、レコードを取り外してください。
- ・ディスクスタビライザーは使用しないでください。
- ・付属品以外のプラッターは使用しないでください。
- ・本製品はDJ用ではありません。再生中のレコードやプラッターには触れないでください。

Bluetooth接続での使いかた

- ・はじめて接続をする場合は、本製品とBluetooth機器をペアリングしてください。
- ・Bluetooth機器の取扱説明書も併せてお読みください。
- ・接続するBluetooth機器の動作は保証できませんので、あらかじめご了承ください。

1. Bluetooth機器の電源を入れます。

- ・本製品とBluetooth機器が正しく接続されると、本製品のコネクトボタンが青色に点灯します。
- ・インジケータLEDが赤色に点灯している場合、コネクトボタンを押すと再度Bluetooth機器と接続します。

2. 「オート再生のしかた」(p.9)または「マニュアル再生のしかた」(p.9)を参照して、レコードを再生します。

- ・Bluetooth接続時、有線接続しているアンプやアクティブスピーカーなどの電源を入れたままにしておくと、両方から音が再生されます。再生したい機器の電源のみを入れてください。

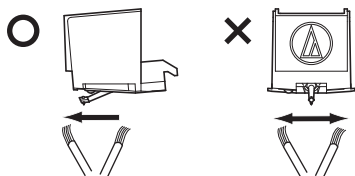
お手入れ

本体のお手入れ

- ・汚れたときやほこりが付いたときはACアダプターを抜いてから、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- ・ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
- ・長い間保存するときには、ACアダプターをコンセントから抜き、機器をビニールなどで包み、湿気を帯びないようにしてください。

カートリッジの針先のお手入れ

- ・針先にごみや汚れが付着した場合は、市販のブラシできれいにしてください。
- ・汚れがひどい場合は、スタイラスクリーナー（別売）をおすすめします。根元から針先へ向かってブラシを動かしてクリーニングしてください。

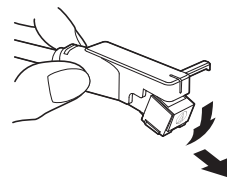


針交換のしかた

交換針の取り外しかた

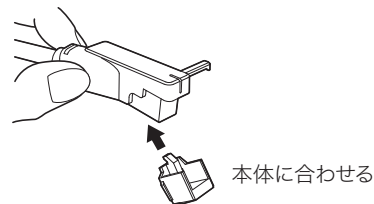
- ・カートリッジの針先が磨耗すると音質が悪くなるばかりでなく、レコードを傷める原因になります。
- ・再生時間は400時間を目安に交換してください。
- ・必ず本製品のACアダプターをコンセントから抜いてください。
- ・針交換を行う場合は、ヘッドシェルとカートリッジ本体をしっかりお持ちください。

1. 針先の前面を回転させるように、手前下向きに押し下げます。

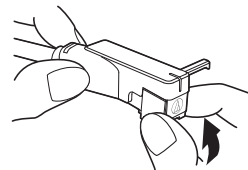


新しい交換針の取り付けかた

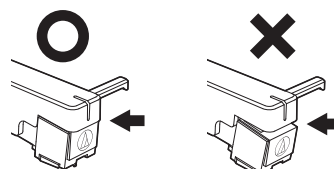
1. 新しい交換針をカートリッジに取り付けます。



2. 差し込み部分を支点にして、カチッという音が出るまで交換針を上方向に押し上げます。



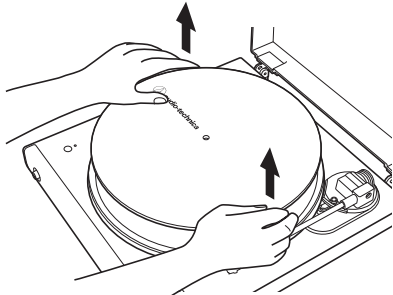
3. ヘッドシェルとカートリッジに隙間がないことを確認します。



ベルト交換のしかた

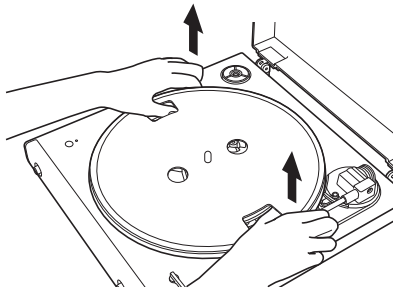
- ・ベルトは消耗品です。再生速度が遅くなったり、回転ムラが発生した場合は、ベルトを交換してください。1年を目安に交換することをおすすめします。
- ・ベルト交換を行う前に、必ず本製品のACアダプターをコンセントから抜いてください。

1. フェルトマットを取り外します。



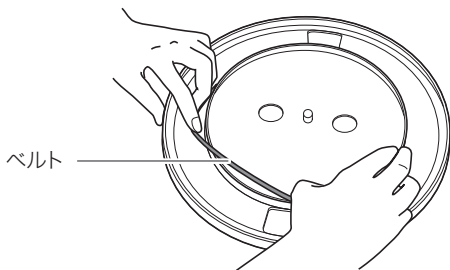
2. プラッターを取り外し、裏返して古いベルトを取り外します。

- ・開口部に親指をかけ、強く引き上げてください。



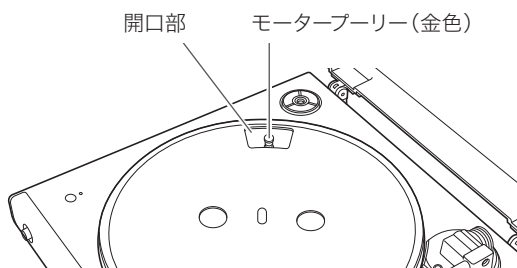
3. 内円部の外周に新しいベルトをかけます。

- ・途中でベルトがねじれないように注意してください。



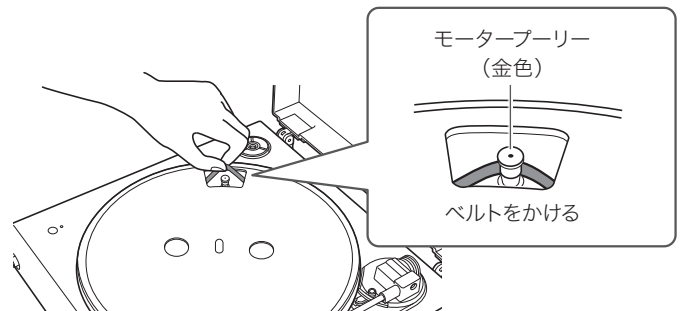
4. プラッターを取り付けます。

- ・開口部とモータープーリー(金色)の位置を合わせてください。



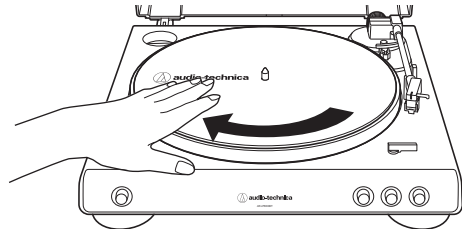
5. モータープーリー(金色)にベルトをかけます。

- ・手順3で取り付けしたベルトをつまんで引っ張りながら、モータープーリー(金色)にかけてください。



6. フェルトマットをプラッターの上に取り付けたあと、手でプラッターを10回転させます。

- ・手でターンテーブルをゆっくり矢印の方向に10回転させてください。



本製品を移動するときは

ご購入時の梱包材を使用して、開梱のときと逆の方法で梱包してください。梱包材がない場合は、以下の対応を行ってください。

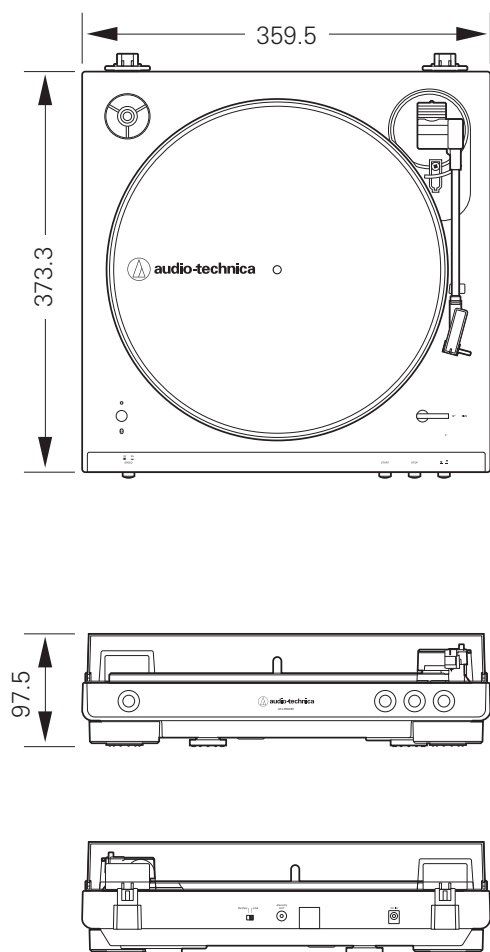
- ・ACアダプターをコンセントから抜いたあと、フェルトマットとプラッターを取り外し、傷が付かないように梱包してください。プラッターを取り付けたまま本製品を移動すると、スピンドルが破損するおそれがあります。
- ・カートリッジにプロテクターを取り付けてください。
- ・トーンアームを紐などで結んで動かないようにしてください。
- ・ターンテーブル本体は、柔らかい布や紙などで傷が付かないように梱包してください。

故障かな?と思ったら

問題	解決方法
プلاتターが回転しない	<ul style="list-style-type: none">・ ACアダプターがコンセントから外れていませんか。ACアダプターをコンセントに差し込んでください。・ ベルトがプلاتターから外れていませんか。ベルトをプلاتターに正しく取り付けてください。・ ベルトがモータープリー(金色)にかけられていますか。ベルトがモータープリー(金色)に正しくかけられているか確認してください。・ ベルトが切れていませんか。ベルトを新品に交換してください。
プلاتターは回るが、音が出ない、または音量が小さい	<ul style="list-style-type: none">・ アンプなど接続機器の機能設定や入力の選択が間違っていないですか。接続機器の設定が適切か確認してください。・ 針が損傷していませんか。針を確認し、交換してください。・ 針がカートリッジ本体に正しく装着されていますか。カートリッジを確認し、調整してください。・ PHONO/LINE切替スイッチの設定位置が間違っていないですか。アンプの入力に合った正しい設定がされていることを確認してください。<ul style="list-style-type: none">- 音が出ない場合や音量が小さい場合は、本製品が「PHONO」側に設定され、アンプのAUX/LINE入力に接続されています。- 音量が大きすぎる場合や歪んでいる場合は、本製品が「LINE」側に設定され、接続機器がPHONO入力に接続されています。
針とびを起こす	<ul style="list-style-type: none">・ レコードが反っていませんか。レコードを確認してください。・ レコードに傷が付いていませんか。レコードを確認してください。
ハウリングが生じる	<ul style="list-style-type: none">・ 本製品が、床、壁面、または近くのスピーカーから過度に振動を拾っていませんか。振動を小さくするか、振動の影響を受けない場所に本製品を置いてください。・ 本製品が不安定な場所に設置されていませんか。設置場所が適切か確認してください。
レコードの再生音にノイズが生じる	<ul style="list-style-type: none">・ カートリッジの針先にほこりが付いていませんか。付いている場合は、市販のブラシできれいにしてください。
レコードの再生音が速すぎる、または遅すぎる	<ul style="list-style-type: none">・ 本製品の回転数の設定が間違っていないですか。回転数セクターで、再生するレコードの種類に合った正しい回転数を選択してください。
再生速度が遅くなる、または回転ムラがある	<ul style="list-style-type: none">・ ベルトが伸びていませんか。ベルトを新品に交換してください。
ペアリングできない	<ul style="list-style-type: none">・ Bluetooth機器の通信方式がVer.2.1+EDR以上であることをご確認ください。・ 本製品とBluetooth機器の距離を1m以内に近づけてください。
Bluetooth接続時、音が出ない／音が小さい	<ul style="list-style-type: none">・ 本製品とBluetooth機器の電源を入れてください。・ 本製品とBluetooth機器の音量を大きくしてください。・ 本製品とBluetooth機器の間に人、金属、壁などの障害物を無くし、距離を近づけてください。
音が割れる／ノイズが出る／音が途切れる	<ul style="list-style-type: none">・ 本製品とBluetooth機器の音量を小さくしてください。・ 本製品から電子レンジ、無線LANなど電波を発する機器を離してください。・ 本製品からテレビ、ラジオやチューナー内蔵機器を離してください。これらの機器に影響を与える場合があります。・ 本製品とBluetooth機器の間に人、金属、壁などの障害物を無くし、距離を近づけてください。

・ Bluetooth機器の操作に関しては、機器により操作が異なるため、お持ちのBluetooth機器の取扱説明書をお読みください。

外形寸法図



(単位: mm)

テクニカルデータ

通信仕様

通信方式	Bluetooth標準規格Ver. 5.0準拠
最大RF出力	10mW EIRP
最大通信距離	見通しの良い状態で10m以内
使用周波数帯域	2.4GHz帯(2.402GH~2.480GH)
変調方式	FHSS
対応Bluetoothプロファイル	A2DP
対応コーデック	Qualcomm® aptX™ Adaptive audio、 Qualcomm® aptX™ audio、SBC

ターンテーブル本体の仕様

駆動方式	ベルトドライブ方式
駆動モーター	DCサーボモーター
回転数	33- $\frac{1}{3}$ または45回転/分
ターンテーブルプラッター	アルミニウム製
ワウフラッター	<0.25% (WTD) at 3kHz
SN比	>50dB (DIN-B)
カートリッジ型式	VM型ステレオカートリッジ
出力レベル	
「PHONO」	標準値2.5mV(1kHz、5cm/秒)
「LINE」	標準値150mV(1kHz、5cm/秒)
PHONOプリアンプゲイン	標準値36dB、イコライザー特性RIAA
電源条件	100~240V、50/60 Hz、0.6A Max.
消費電力	1.5W
ACアダプター	12V、0.5A
外形寸法	359.5mm×97.5mm×373.3 mm (W×H×D)
質量	2.6kg
付属品	ダストカバー(ヒンジ付き)、フェルトマット、プラッター(ドライブベルト付き)、EPアダプター、オーディオケーブル(約1.2m)、ACアダプター(約1.5m)
交換針(別売)	ATN3600L
交換ベルト(別売)	AT-LP60X用ベルト

改良などのため予告なく変更することがあります。

お問い合わせ

アフターサービスについて

本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

お問い合わせ先(電話受付/平日9:00~17:30)

製品の仕様・使いかたや修理・部品のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。

・お客様相談窓口(製品の仕様・使いかた) ☎ 0120-773-417
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0211)
FAX:042-739-9120 Eメール:support@audio-technica.co.jp

・サービスセンター(修理・部品) ☎ 0120-887-416
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0212)
FAX:042-739-9120
Eメール:servicecenter@audio-technica.co.jp

・ホームページ(サポート) www.audio-technica.co.jp/atj/support/

- ・ Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、株式会社オーディオテクニカは、ライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- ・ Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries. Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.

